

## 第5章：交通の将来像を実現するための基本方針

これまで取り組んできた「都心アクセスの強化」、「都心部の移動円滑化」、「生活交通の確保維持・強化」の3つの視点は継承しつつ、新たな将来像に対応する「広域交通との連携強化」、「市民や関係者による協働」を加え、5つの視点と新たな将来像を踏まえ、新たな基本方針を定めました。

交通の将来像 「県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち」

### 将来像を実現するための5つの基本方針

基本方針 (視点：都心アクセスの強化)

**多核連携型のまちづくりを支える交通戦略**

基本方針 (視点：広域交通との連携強化)

**都市の活力と拠点性を強化する交通戦略**

基本方針 (視点：都心部の移動円滑化)

**まちなかの賑わいを創出する交通戦略**

基本方針 (視点：生活交通の確保維持・強化)

**暮らしを支えるモビリティ<sup>※</sup>を地域で育む交通戦略**

基本方針 (視点：市民や関係者による協働)

**みんなで築き上げる交通戦略**

# 基本方針：多核連携型のまちづくりを支える交通戦略

— 都心アクセスの強化

各地域が育んできた個性や特色を活かしながら、都市全体として健全な社会経済活動を推進し、交流人口の拡大、防災意識の高まり等のニーズに対応して生活の質を向上するためには、国内外の交流や地域間の連携を支える交通基盤整備をさらに充実させる必要があります。

また、市民の多様な移動ニーズに応え、環境負荷の少ない豊かな地域社会を構築するためには、公共交通の利用促進や交通施策と連動した土地利用を誘導する取組みが重要です。

本市では、都心方向を結ぶ既存公共交通機関の運行本数、定時性、終発時刻や冬季・悪天候時の乗り換え負担軽減などの利便性向上、過度な財政負担なくサービスを維持するための利用促進を図ります。幹線的な交通としての鉄道・バス及び、それにアクセスする交通としてのバス・タクシー・自転車・自家用車等の役割分担を図ることにより、公共交通の輸送効率向上及び運行頻度増加を検討するとともに、各交通手段間の結節強化を図ります。

多核連携型の都市を支え、自家用車の適正な誘導や災害・渋滞対策等の観点から、放射方向に伸びる国道バイパスを横断的に結ぶ放射環状型の道路網を構築します。

さらに、コンパクト・プラス・ネットワーク※を基本とした公共交通のもと、適正な土地利用を誘導することにより、「多核連携型のまちづくりを支える交通戦略」を目指します。

## ①都心方面を結ぶ公共交通の利用促進に向けたサービス強化

- 都心方面を結ぶ公共交通の運行本数、所要時間、終発時刻や冬季・悪天候時の乗り換え負担軽減などのサービスをより強化し、過度な財政負担なくそのサービスを維持するための利用促進を図る。
- 自家用車からの転換を促進することで、道路混雑の緩和によるバスの定時性向上を図る。

## ②鉄道・バス・タクシー等の交通手段間の役割分担と結節強化

- 都心方面を結ぶ幹線的な交通としての鉄道・バス及び、それにアクセスする交通としてバス・タクシーを中心に自転車・自家用車等を含めた役割分担を図ることにより、公共交通の輸送効率向上及び運行頻度増加を検討するとともに、各交通手段間の結節強化を図る。

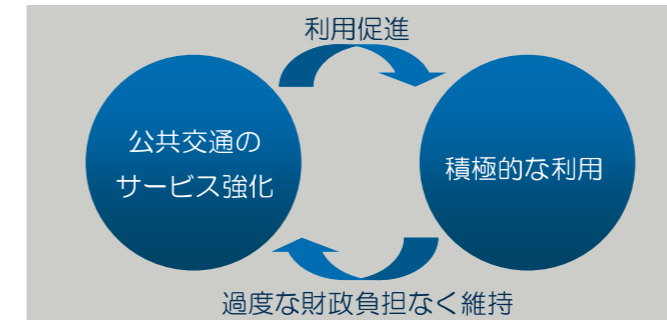
## ③災害に強く、健全な社会経済活動や渋滞緩和等に必要な道路の整備

- 多核連携型の都市を支え、自家用車の適正な誘導や災害・渋滞対策となる道路整備を推進する。

## ④地域のまちなかへの居住・施設立地誘導との連携

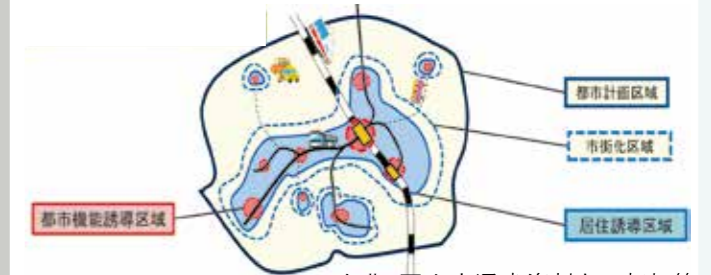
- 利便性の高い公共交通サービスの提供と利用促進の観点から、適正な土地利用を誘導することでまちづくりと連携を図る。

### ①都心方面を結ぶ公共交通の利用促進に向けたサービス強化



公共交通の利用促進に向けたサービス強化

### ④地域のまちなかへの居住・施設立地誘導との連携



出典：国土交通省資料を一部加筆  
地域のまちなかへの居住・施設立地誘導イメージ



多核連携型のまちづくりを支える交通ネットワークのイメージ

### ②鉄道・バス・タクシー等の交通手段間の役割分担と結節強化



駅前広場整備による鉄道とバスの結節強化(白山駅)



商業施設と連携したパーク&ライド

### ③災害に強く、健全な社会経済活動や渋滞緩和等に必要な道路の整備



幹線道路網の主な整備箇所(事業中・計画中路線)



# 基本方針：都市の活力と拠点性を強化する交通戦略

－ 広域交通との連携強化

都心周辺部には、都心と近接する自然環境を活かした文化・交流・医療などの機能が集積する鳥屋野潟南部開発地区、日本海側の国際的な交通拠点である新潟港と新潟空港、国の行政施設と県庁を核とした広域的な行政拠点となる新光町・美咲町地区等の複数の都市拠点があり、厳しさを増す都市間競争において新潟の拠点性を高めるためにも拠点間の効果的な連携が必要です。

本市では都心部の強化と同時に、拠点の整備と機能集積を図り、都心部と各拠点間の交通アクセスを強化することによって、都心部及び都心部周辺の魅力をより一段と高め、新潟の活力を創出し、来訪者や観光客を含めた交流人口の拡大を図ります。

さらに、新潟駅周辺整備事業を促進し、その効果を最大限発揮するとともに、広域交通相互及び二次交通の乗り換え利便性を向上させ、主要拠点間のアクセス強化や市外を含めた周遊を円滑にするなど、駅・港・空港など広域交通拠点\*と基幹公共交通軸の効果的な連携を図り、「都市の活力と拠点性を強化する交通戦略」を目指します。

## ①土地利用と連携した基幹公共交通軸\*の形成

- 都市機能誘導施策と連携し、基幹公共交通軸\*を形成する。
- 基幹公共交通軸\*の形成は、市民理解を得るとともに交通事業者と連携し、望ましい整備のあり方を検討する。

## ②駅・港・空港など広域交通拠点\*と二次交通が連携した主要エリア間のアクセス強化と周遊強化

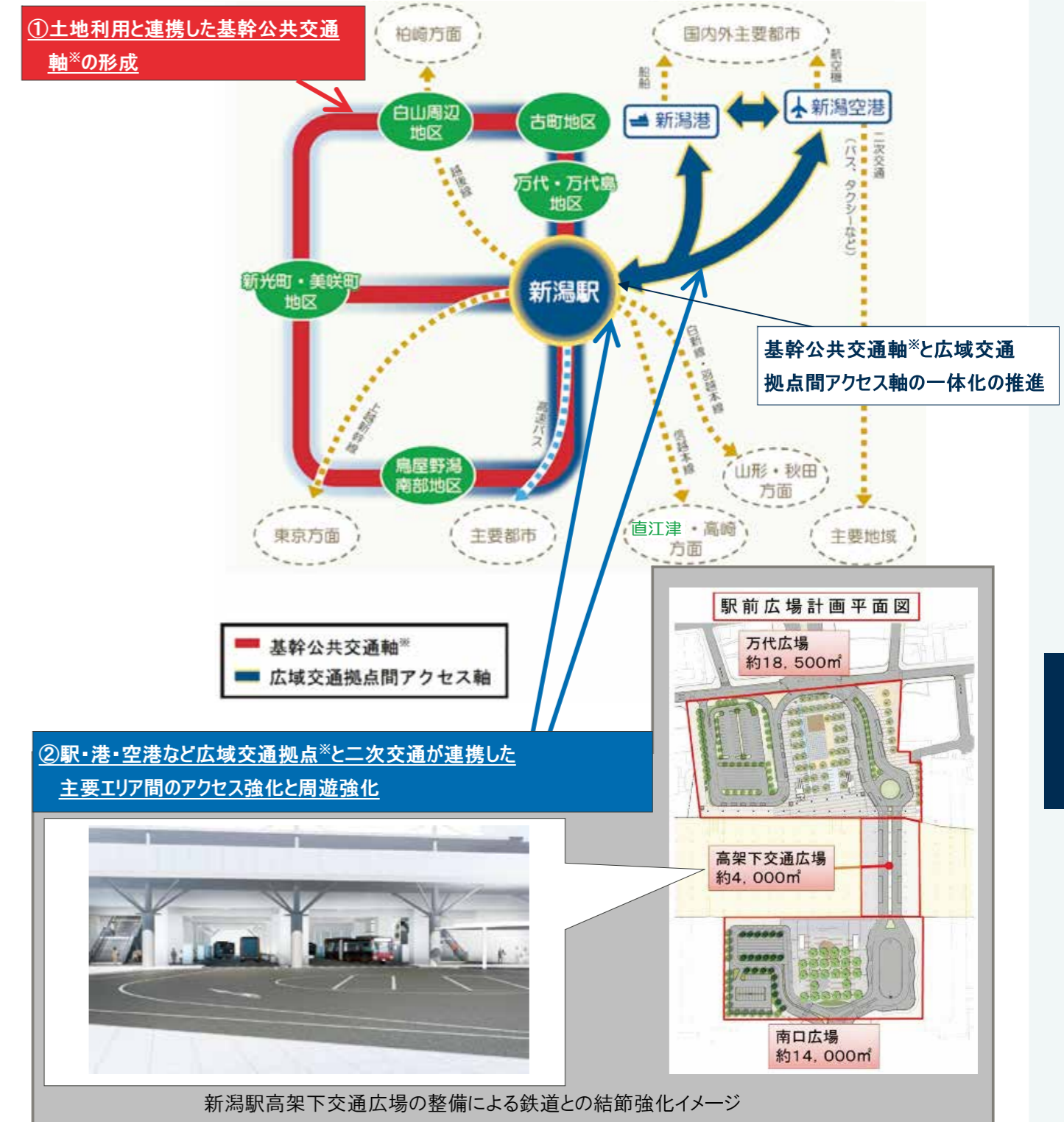
- 新潟駅・新潟港・新潟空港など広域交通拠点\*と、都心部及び基幹公共交通軸沿線主要拠点の連携を強化するため、バス等の二次交通を充実し、来訪者や観光客といった交流人口の拡大を図る
- 新潟駅周辺整備事業を促進し、その効果を最大限発揮するとともに、各交通手段の結節を強化する。
- 低未利用地の活用や交通ターミナル機能の充実、情報発信力の向上など、広域交流の玄関口としての充実を図る。



新潟駅万代広場イメージ図



新潟駅南口広場  
(平成 21 年度第 1 期工事終了)



## ②駅・港・空港など広域交通拠点\*と二次交通が連携した主要エリア間のアクセス強化と周遊強化



新潟駅高架下交通広場の整備による鉄道との結節強化イメージ





# 基本方針：まちなかの賑わいを創出する交通戦略

— 都心部での移動円滑化

古町・白山・万代・新潟駅周辺からなる都心部においては、新潟市を代表する「顔」として、政令指定都市に相応しい都市機能集積と各拠点間を結ぶ基幹公共交通軸<sup>\*</sup>の形成を図ることで、市民や来訪者等が訪れたいまちなかを目指し、常に活気と賑わいのある都市空間づくりを推進します。

また、陸の玄関口である新潟駅周辺地区や、大型商業施設が立地する万代地区では、市民や訪れる人にとって快適でわかりやすい交通の利用環境を実現するとともに、古町周辺地区では旧小澤家住宅や旧齋藤家別邸などの歴史的な建物の保全活用や掘割の検討など、湊町「にいがた」の街並みの再現や創出などにより、歩いて楽しいまちづくりを進めます。

このように、若者から高齢者まで、多くの人々が集まり住む都心部では、誰もが快適に移動できる交通環境として、新潟駅周辺整備事業を契機に、歩行者、自転車や公共交通による回遊性向上と結節強化に取り組みます。また、都心部への通過交通抑制に資する道路整備を進めるとともに、都心部の道路空間を公共交通や歩行者自転車空間創出に再構築することで、まちなか活性化に向けた回遊性向上を図り、「まちなかの賑わいを創出する交通戦略」の実現を目指します。



出典：新潟都心の都市デザイン<sup>\*</sup>より作成

まちなかの回遊促進イメージ

## ①多様な手段による回遊性向上と結節強化

- 新潟駅周辺整備事業により、駅南北間を結ぶ道路整備やバスの運行により、古町、万代地区と鳥屋野潟南部開発地区など新潟駅南北間の回遊性を向上する。
- 新潟駅周辺整備事業により、鉄道とバス、自転車、徒歩等の結節を強化する。

## ②都心部への通過交通抑制に資する道路の整備

- 都心部に流入する通過交通の抑制に資する道路整備を推進する。

## ③公共交通や歩行者自転車空間創出に資する道路空間の再構築・利活用

- 公共交通や歩行者自転車通行空間を確保し、賑わいの創出につながる道路空間の利活用を推進する。

### ①多様な手段による回遊性向上と結節強化



にいがたレンタサイクル



新潟駅万代広場の整備イメージ

### ③公共交通や歩行者自転車空間創出に資する道路空間の再構築・利活用



ガルベストーン通り

### ②都心部への通過交通抑制に資する道路の整備



出典：国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所  
万代島ルートの整備イメージ



ライジングボラード<sup>\*</sup>(日和尚小学校周辺)



## 基本方針：暮らしを支えるモビリティ※を地域で育む交通戦略

－生活交通の確保維持・強化

超高齢社会の進展に伴い、日常における暮らしやすい生活環境を確保するためには、文化や産業など地域独自の個性を活かしながら、地域のまちなかという身近な場所に生活を支える主要なサービス機能を充実させていくことが重要です。さらに、地域全体の交通アクセスを改善し、運転に不安のある高齢者等が自家用車を利用しなくても生活に必要なサービスを受けられるなど、暮らしやすい交通環境を充実させることが、安心・安全な地域づくりに必要となります。このような考えのもと、地域のまちなかでは、主要な施設に市民が徒歩や自転車で安全・快適に移動できる空間を整備するとともに、既存公共交通の活用や改善に取り組み、まちづくりと連携した地域公共交通網の形成に取り組みます。

また、各区のまちなかエリア以外でも、多様なライフステージ等のニーズや需要に応じ、乗合タクシー※や自転車、自家用車等を含め、適切な交通手段を活用します。

その際、地域のニーズに応じた交通サービスを効率的に提供するとともに、意識啓発及び利用促進を図るために地域主導による計画づくりや運営を推進し、「暮らしを支えるモビリティ※を地域で育む交通戦略」の実現を目指します。

### ①地域のまちづくりと連携した区内公共交通網の形成

○生活交通は区内の生活拠点内や拠点間を結ぶなど、地域のまちづくりと連携して確保維持・強化する。

### ②多様なライフステージのニーズや需要に応じた交通手段の活用

○地域の移動ニーズや需要に応じて、乗合タクシー※や自家用車等を含めた適切な交通手段を活用する。

○超高齢社会が進展するなか、各々のニーズや需要に対応するため、事例等を踏まえつつ検討する。

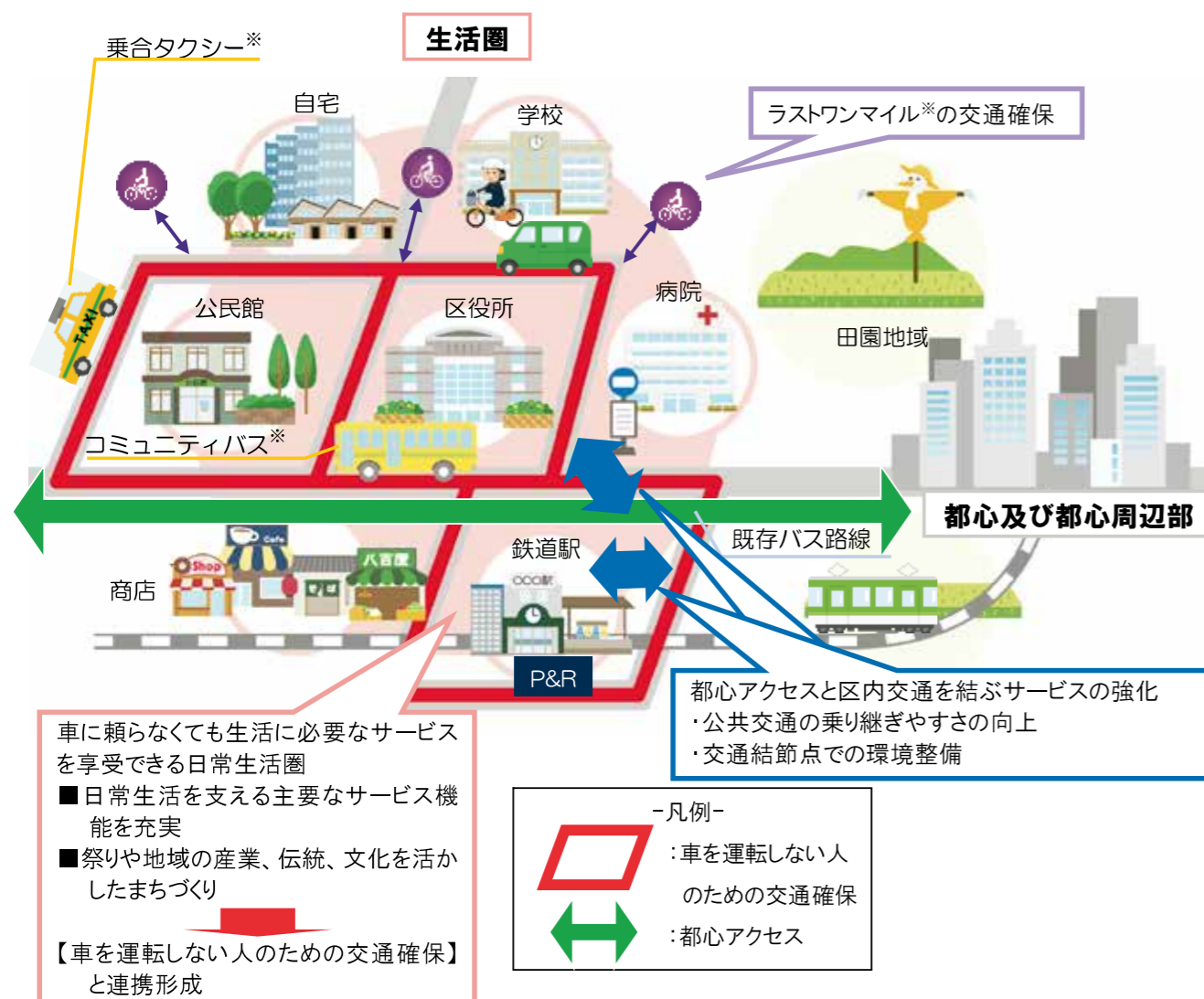


出典：輪島商工会議所

将来の自動運転も見据えた電動カーの活用（輪島市）

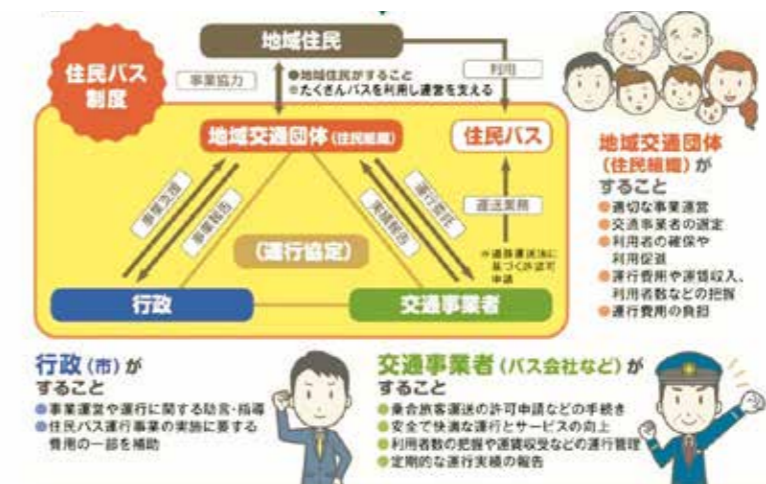


乗合タクシー※（新潟市南区）



### ③地域主導による計画づくりや運営の支援

○地域のニーズに応じた交通サービスを効率的に提供するため、自治会等の地域主導による計画づくりや運営を推進する。



## 基本方針：みんなで築き上げる交通戦略

ー市民や関係者による協働

これからの交通施策は、自家用車以外の移手段を充実するとともに、ユニバーサルデザイン<sup>※</sup>の考え方が重要であり、まずはバリアフリー<sup>※</sup>化や多言語案内などから取り組む必要があります。

市民にとって使いやすく喜ばれる公共交通に改善していくためには、行政・交通事業者・住民が共に考え、協働していくことが重要です。

公共交通は、まちなかの賑わい創出などまちづくりにとっても重要な役割を果たしますが、一定のサービスレベルを満たしながら地域に即した運行形態を維持していくためには、利用者である住民が知恵を出し合い支えていくという意識を醸成する必要があります。住民にも交通サービスの提供に対して自覚を持ってもらうため、自治会等の地域主導による計画づくりや運営を推進することで、自発的な利用に繋がります。また、公共交通を運行・運営する交通事業者への行政の関与が重要と考えます。

さらに、近年は自動運転やICT<sup>※</sup>を活用した情報提供といった新技術等の動向が活発であり、効率的に交通課題を解決するため、民間活力の積極的な導入が求められます。

このように、目指すべきまちづくりに向けて、今後は住民や関係機関が互いに信頼関係を築き、意見を交換しながら、適切な役割分担のもと地域に根ざした交通体系づくりを推進し、「みんなで築き上げる交通戦略」を目指します。

### ①公共交通等の利用促進に向けた情報提供や意識啓発の強化

- 公共交通や自転車の利用促進に向け、サービス等に関する情報提供や意識啓発を強化する。
- ICT<sup>※</sup>技術等を活用した情報提供の充実を図る。
- 都心部におけるイベント時等を活用し、公共交通や自転車利用の意識啓発を図る。

### ②ユニバーサルデザイン<sup>※</sup>の積極的な導入

- ユニバーサルデザイン<sup>※</sup>の考えにもとづき、まずはバリアフリー<sup>※</sup>化や多言語案内などを推進する。



スマートウェルネスシティ<sup>※</sup>



ユニバーサルデザインタクシー



ノンステップバス<sup>※</sup>車両とバリアレス縁石<sup>※</sup>

出典：トヨタ自動車株式会社

### ③地域主導による計画づくりや運営の支援【再掲】

- 地域のニーズに応じた交通サービスを効率的に提供するため、地域主導による計画づくりや運営を推進する。

### ④民間活力による新技術等の導入

- 効率的に交通課題を解決するため、民間活力の導入を促進する。
- 新技術等の導入に向けた社会実験を誘致・支援する。



民間企業による自動運転バスの実証実験(栃木県)

出典：国土交通省ホームページ  
(<http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/automatic-driving/doc01.html>)

